



平成 21 年 9 月 18 日

各 位

会社名 イオンクレジットサービス株式会社
代表者名 代表取締役社長 神谷 和秀
(コード番号 8570 東証第一部)
問合せ先 取締役経営管理本部長 山田 義隆
(TEL 03-5281-2057)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号 8267 東証第一部)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

特別損失の計上及び最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 4 月 6 日の決算発表時に公表した平成 22 年 2 月期第 2 四半期累計期間（平成 21 年 2 月 21 日～平成 21 年 8 月 20 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当第 2 四半期累計期間の営業概況

- ・昨年来の国内の景気後退は一部下げ止まりの兆しが見られるものの、依然として企業業績や雇用環境は厳しく、個人消費の低迷は継続しております。加えて、貸金業法の段階的施行や今後の割賦販売法の改正等、経営環境は大変厳しい状況となっております。
- ・当社におきましては、会員募集の拡大により、カードショッピング取扱高は順調に推移しました。また、電子マネー事業、銀行代理業など、新たな収益源の育成や、海外におけるクレジット事業が順調に拡大した結果、着実に事業構造の転換を進めることができいております。

2. 特別損失の計上について

- ・利息返還請求につきましては、平成 20 年度において一時沈静化する兆しが見られたものの、本年 1 月、利息返還請求権の消滅時効に関する解釈が示されて以降、当期において増加傾向となり、今後も予断を許さない状況が見込まれるため、将来の利息返還見込額を抜本的に見直しました。
- ・これによる今後の利息返還見込額と第 2 四半期末時点における従来の見積金額との差額 140 億円を利息返還損失引当金繰入額として特別損失に計上いたしました。

3. 業績予想数値の修正

(1) 平成22年2月期 第2四半期連結累計期間業績予想数値の修正 (平成21年2月21日～平成21年8月20日)

(連結)

(金額の単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|---------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 83,000 | 12,500 | 12,100 | 5,700 | 36円34銭 |
| 今回修正予想(B) | 84,800 | 8,500 | 8,300 | △6,300 | △40円12銭 |
| 増減額(B-A) | 1,800 | △4,000 | △3,800 | △12,000 | — |
| 増減率(%) | 2.2 | △32.0 | △31.4 | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年2月期第2四半期) | 88,586 | 15,346 | 15,504 | 7,076 | 45円12銭 |

(2) 平成22年2月期 第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成21年2月21日～平成21年8月20日)

(個別)

(金額の単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|---------|-----------------|
| 前回発表予想(A) | 56,000 | 7,200 | 7,900 | 5,000 | 31円88銭 |
| 今回修正予想(B) | 57,382 | 3,154 | 3,938 | △7,421 | △47円31銭 |
| 増減額(B-A) | 1,382 | △4,046 | △3,962 | △12,421 | — |
| 増減率(%) | 2.5 | △56.2 | △50.1 | — | — |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年2月期第2四半期) | 58,465 | 8,780 | 10,009 | 5,792 | 36円93銭 |

4. 修正の理由

(1) 連結業績予想の修正理由

- ・「1. 当第2四半期累計期間の営業概況」に記載のとおり、業容が拡大したことに伴い、連結営業収益は前回発表予想を上回る見通しであるものの、事業構造転換を加速化する為の電子マネー事業や銀行代理業等、新規事業への先行投資的な費用が計画を上回り発生したことによる営業費用の増加、及び「2. 特別損失の計上について」により、営業利益以下の項目は前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(2) 個別業績予想の修正理由

- ・連結業績予想と同様の修正理由であります。

なお、通期の業績予想につきましては、9月29日に予定しております第2四半期累計期間決算発表時にお知らせいたします。

5. 配当予想について

- ・配当予想につきましては、平成21年4月6日の決算発表時に公表した内容から変更ございません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上